

新公立病院改革プランの概要（平成 29 年 3 月策定）

区分	国保依田窪病院	東御市民病院	上田市立産婦人科病院
許可病床数	140床（一般:92、地域包括ケア:39）	60床（一般）	27床（一般）
診療科目	内、外、整、眼、小、皮、泌、脳外、循、消、リウ、呼、リハ、耳鼻、心外	内、外、整、泌、透析、小、眼、リハ、アレ、産婦	産婦
地域医療構想を踏まえた果たすべき役割	<p>安定した経営の下で、へき地医療・不採算地域におけるへき地医療と特殊分野における高度・先進医療を提供する重要な役割を担っていくこと。</p> <p>中核施設群（基幹病院）との連携による地域ネットワークを構築し、周辺施設との連携の中で地域全体の医療の質に責任を持つことが使命。</p> <p>① 構成自治体の国保直営診療施設として1次医療の実践                  ② 救急告示・病院群輪番制参加医療機関として、緊急・救急医療を行うとともに、2次医療機関としての医療を行う。                  ③ 地域の保健・福祉・医療の中核的役割（老人保健施設の併設）                  ④ 回復期（亜急性期）患者の受入れ（地域包括ケア病棟の4つの機能）                  ⑤ 地域の基幹病院として管内診療所等との連携、地域医療連携の強化                  ⑥ 県内及び県外も対象とした専門特化した整形外科先進医療の提供</p>	<p>当院の病床は「急性期」という位置付けであるが、機能的には「急性期～回復期」ニーズへの対応を行っており、今後もこの機能の充実を図っていくとともに、増加する「在宅医療」ニーズへの対応として、地域の開業医や訪問看護ステーションと連携を取りながら、みまき温泉診療所とともに訪問診療の充実を図っていく。</p>	<p>上田地域の周産期医療を守るため、産科、婦人科外来、子宮頸がん検診、婦人科手術等の医療提供を継続的に行う。</p> <p>上田地域の分娩は上田地域の中で確保していくという点から、ハイリスクを担う信州上田医療センターと、他の3施設は正常分娩と帝王切開までを担当し、地域内で役割分担が必要。</p>
平成 37 年（2025 年）における具体的な将来像	<p>2025 年以降、地域内からの入院需要は漸減が予想される一方で、介護需要の増加が見込まれる。急性期病床、地域包括ケア病床や回復期病床を効率的に運営するとともに、療養病床を含めた多機能な病棟運営を戦略的に進める必要がある。</p>	<p>「急性期～回復期」ニーズ及び「在宅医療」ニーズへの対応を行うため、「地域包括ケア病床」の段階的な増床による機能の充実に加え、「在宅療養支援病院」としての機能を高めていく。</p>	<p>上田地域の周産期医療を守る一つの医療機関として、与えられた役割を果たす。</p>
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<p>高齢者などが安心して在宅で暮らすためには、在宅医療や終末期医療を担う医師の育成、訪問看護体制の拡大と「地域包括ケア病棟(39床)」、および併設の「老人保健施設いこい」のフル活用。</p> <p>急性期・回復期機能を持つ地域包括ケア病棟が非常に重要。</p>	<p>「ホスピタリスト」として近隣の医療機関と連携しながら、地域のプライマリケアの充実に向けた中核機能を担う。</p> <p>①老年医療の充実・・・リハビリ、在宅復帰支援、介護や入院につなげない外来                  ②在宅医療の充実・・・開業医との連携                  ③初診外来の充実・・・迅速・的確な診断とトリアージ機能の強化                  ④予防医療の充実・・・看護指導、保健師・栄養士の専門指導</p>	<p>（該当なし）</p>
再編・ネットワーク化 （地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討することが必要な病院）	<p>① 地理的・立地的条件や地域で唯一の入院機関であるなど当院におかれている現状・役割から、病院の再編については現状維持。</p> <p>② 中核施設（基幹病院）の連携による地域ネットワークの構築は必要（関係機関相互において、二次保健医療圏を視野に入れた地域全体で再編・ネットワーク化について検討）</p>	<p>今回の改革プラン策定に際して、当圏域の公立2病院（信州上田医療センター、依田窪病院）と本件に関する今後の方向性や考え方などについて意見交換を行う機会を設けた。それぞれの役割分担を確認する中で、依田窪病院とのネットワーク化については今後も検討・協議を継続し、計画期間内に一定の成果を出せるよう進める。</p> <p>また、果たすべき役割や市民との関わりにおいて、日頃から繋がり深い近隣の公的2病院（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、小諸厚生総合病院）との連携についても、幅広い視点から本件に関する検討を行っている。</p>	<p>①信州上田医療センター産婦人科との役割分担の中での連携                  ②同センター各科（小児科、検査科、産婦人科、看護部）との連携                  ③地域内産婦人科医療機関との連携（妊婦健診と分娩の役割分担）                  ※再編については、医療連携により地域内での役割分担が明確であり、現状行う予定はない。</p>